

児童ら「いい炭できた」

亀山の白川小 学校の窯で焼き上げ

【亀山】亀山市白木町の市立白川小学校(平野朋希校長)の五、六年生計十二人は二十二日、同校運動場北側の「炭焼き窯」から、焼き上がった炭を取り出した。昔の生活を知る総合学習の一環。同校の炭焼き窯



炭焼き窯から炭を取り出す児童＝亀山市白木町の市立白川小学校で

は、児童らに炭焼き体験を平成十三年、地域住民らと窯を設置。その後、窯の一部が劣化し、数年の放置期間を経て同三十年、当時の川合正男校長と地域住民らで窯を修復。以降毎年三回程度、炭焼きをしている。

この日は、川合元校長(六巴)と同校学校運営協議会の浅野重信会長(ハモラ)地域住民らが協力し、今日九日に長さ約八十センチの原木約二百五十本を窯入れし、焼き上がった炭(約百五十キ)を取り出した。

焼いた炭は、「白川の炭」として一箱(六キ入り)千円(税込み)で販売。市のふるさと納税の返礼品に登録する予定という。

六年生の廣森悠真君(こ)は「今年もいい炭ができたと思う」、川合元校長は「まあまあのも出来具合でほっとしている」と話していた。問い合わせは同校電話0595(82)3007へ。

(岩間匠)



「ぜひ挑戦してみて」と話す出口三智子さん。いなべ市内で

メダカすくい挑戦を

きょういなべで「秋の収穫祭」

出口さんが出店、呼びかけ

【いなべ】いなべ市員弁町の出口幸重さん(六八)は二十三日午前九時午後二時、同町の農産物直売所「ふれあいの駅うりぼう」で開かれるイベント「秋の収穫祭&新そば祭り」に、メダカすくいとスーパールールすくいを出店する。出口さんの妻三智子さん(六八)は「ぜひ挑戦してみて」と呼びかけている。

出口さんは直売所にメダカを持ち込み、店で販売されている。メダカはすぐ近くに住む娘夫婦が育てている。長女が二年ほど前から趣味で育て始めたが、今ではその数約八十種類、二万匹を超えるという。

メダカすくい、スーパールールすくいはともに一回三百円。イベントでは、新そばの振る舞いや焼き芋、五平餅の販売、ミカン、柿、イモなどの詰め放題もある。

油・水彩画など48点並ぶ 四日市で「グループ萌」絵画展



作品を鑑賞する島の市文化会館

【四日市】四日市市海山道町の三浜文化会館で絵画の創作活動をする「グループ萌」(寺本武次代表)は二十二日、同市安島の市文化会館で、第三十回「グループ萌絵画展」を開いた。会員十一人の油・水彩、アクリル、日本画など四十八点を展示している。二十三日まで。

長野から望の朝、脈とア

ナ積み多し、午前10時半名古屋へ▽日本船「ZUIYO O MARU」午後3時半水島から。ペンタン積み、午後11時半水島へ▽韓国船「ローヤルサンブ」午前4時蔚山から。キュメン積み、24日午後6時チャンシュヘ▽リベリア船「SEACON YOKOHAMA」午後11時半ピントウ

ルーか分津へ【出船】AN

ベスト